

## 令和7年労働組合基礎調査（和歌山県分）の結果概要

- 1 本県の労働組合数は、392組合で、前年同期に比べて7組合減少し、労働組合員数は、51,813人で前年同期に比べて784人増加した。（第1表）
- 2 県下の主要団体別の労働組合員数は、連合和歌山36,073人（168組合）、県地評6,355人（104組合）  
適用法規別の労働組合数及び組合員数は、労働組合法適用組合が308組合・38,880人、行政執行法人の労働関係に関する法律適用組合が3組合・181人、地方公営企業労働関係法適用組合が2組合・142人、国家公務員法適用組合が17組合・383人、地方公務員法適用組合が62組合・12,227人（第2表）
- 3 県内労働組合員の各産業に占める割合は、「製造業」が20.29%と最も高く、次いで、「卸売業、小売業」19.39%、「公務」17.35%の順  
県内の主要団体の加盟組合員の各産業別に占める割合は、連合和歌山では、「卸売業、小売業」が25.56%と最も高く、次いで「製造業」が22.53%、「公務」が20.66%の順となっており、県地評では、「教育、学習支援業」が33.47%と最も高く、次いで「医療、福祉」が27.82%、「公務」が11.06%の順（第3表）
- 4 地区別では、和歌山市に206組合（52.55%）とほぼ半数が存在（第4表）
- 5 規模別では、29人以下の組合員で構成されている組合が177組合（45.15%）となっている。（第5表）
- 6 県内の労働組合数が最も多かったのは、平成2年の641組合で、労働組合員数が最も多かったのは昭和49年の96,171人  
労働組合数及び労働組合員数の長期的な推移をみると、ともに減少傾向である。（第6表）